

平成24年 普及活動の結果について



平成24年2月7日
上サロベツ自然再生協議会 第13回再生普及部会

(1) 自然再生普及活動の進め方について

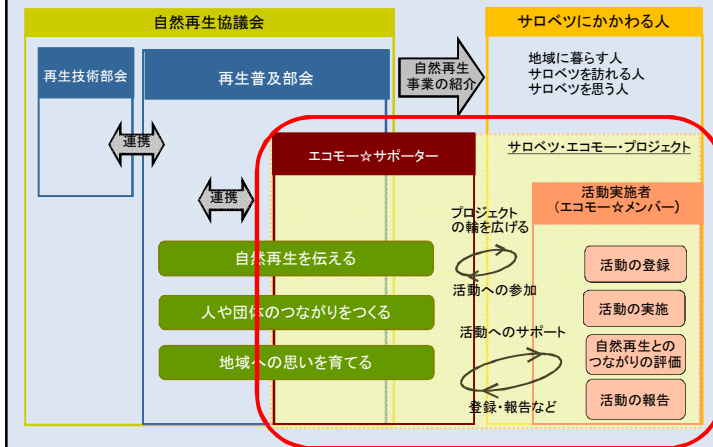
自然再生普及行動計画の位置づけと目的

上サロベツ自然再生全体構想		
【目標】		
1 湿原の自然再生	2 農業の振興	3 地域づくり
【自然再生の推進に必要な事項】		
地域住民等多様な主体の参画による自然再生情報の発信とフィードバック		
地域としての取り組み	環境教育の視点	
自然環境と調和した地域産業の持続的発展のあり方		
自然再生への取り組みを持続的なものにする工夫		

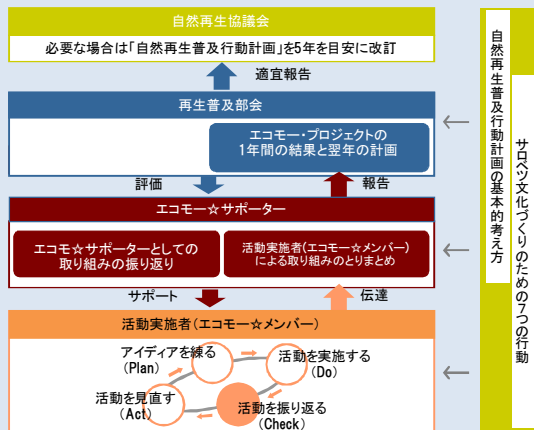
サロベツならではの**特徴ある地域づくりを進めるための『3つの役割』**

- ◆自然再生を伝える
- ◆人や団体のつながりをつくる
- ◆地域への思いを育てる

自然再生普及活動の進め方



自然再生普及活動の評価・見直しの仕組み



(2) 平成24年の自然再生普及活動のふりかえり

サロベツ・エコモ-プロジェクト2012 活動の様子



サロベツHANAマラソン2012



サロベツ湿原保全ボランティア活動とウォーキング2012年夏



サロベツ自然語講座



上サロベツの自然と農業を学ぶパネル展



外来種からサロベツをまもろう！
 (オオハンゴンソウの除去)



外来種からサロベツをまもろう！
 (セイヨウオオマルハナバチの巣の除去)



サロベツ川&ベンケ沼清掃



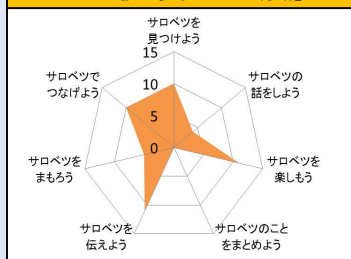
押忍！我ら豊富町『カレー部』！



サロベツ・エコモー・プロジェクト2012のふりかえり

活動数(参加団体)	
平成20年	9活動(9団体)
平成21年	19活動(11団体)
平成22年	16活動(18団体)
平成23年	22活動(18団体)
平成24年	17活動(15団体)

サロベツ・エコモー・プロジェクト2012に該当する「7つの行動」



- ◆平成23年のエコモー実施者のうち11個人団体がエコモー活動を継続した。
- ◆しかし、平成23年の活動実施者20個人団体のうち、7個人団体の登録が今年にはなかった。

- 「7つの行動」について
- ◆該当数が多い行動
→「サロベツでつなげよう」
「サロベツを楽しもう」
「サロベツを見つけよう」
「サロベツを伝えよう」
 - ◆該当数が最も少ない行動
→「サロベツをまとめよう」

エコモー☆サポーターの活動のふりかえり



自然再生普及行動計画の「3つの役割」 から見たふりかえり

①自然再生を伝える

- ◆自然再生PR活動を行い、来訪者に自然再生事業と、自然再生に関わる地域活動を伝えることができた。

自然再生PR会場への来訪者
ホッキ祭り：112人
サロベツ・エコモーDay：133人

- ◆平成24年の自然再生PR活動は、ネイチャーゲームや、泥炭を触ってもらうコーナーを設けたことで内容が充実した。

- ◆来訪者へのアンケート結果から、自然再生への関心が高まったこと、自然再生PR活動の内容が好評であったこと、今後もサロベツ・エコモーDayのようなイベントがあれば参加したいことがわかった。

- ▼ホッキ祭りの参加者(約3000人)に、もっと自然再生PR会場を訪れてもらうための工夫が必要。



②人や団体のつながりをつくる

- ◆地域活動にエコモー☆サポーターが参加し、主催者と共に活動したことで、新たなエコモー・プロジェクトとしてつながりをつくることができた。

- ◆サロベツ・エコモーDayの開催では、農家の方々からも協力をいただくことや、料理コンテストに地元の高校生に参加していただくことができた。

- ◆サロベツ・エコモー・プロジェクト活動報告会に農家の方も参加していただくことができた。

- ▼エコモー☆メンバー同士がより交流を深められるようにする工夫が必要である。



③地域への思いを育てる

- ◆サロベツ…エコモーDayでは、八重沢さんや村元さんのお話を地元の高校生にも聞いてもらうことができた。

- ◆エコモー・プロジェクト活動報告会で、参加した農家の山本さんから、農家の間でもサロベツの自然を大切にしている気持ちが徐々に強くなってきていることや、今後もサロベツの自然と関わっていきいたいとの話があった。

- ◆サロベツ・エコモー・プロジェクト活動報告会で、活動報告者である東条さんから、ポニーの幌馬車の活動をとおして、サロベツの魅力を紹介していきいたいとの話があった。



年間の活動方針から見たふりかえり

方針

エコモープロジェクトの輪を広げるため、支援WGと他の団体との交流を深める。

成果

- ◆地域活動のリストを作成し、エコモー☆サポーターとして参加したことで、新たなつながりを作ることができた。

- ◆サロベツ・エコモー・プロジェクトの活動報告集や、各団体の取り組みを紹介するパネルが充実したことで、広く普及活動を行うことができた。

課題

- ◆地域活動のリストをE☆S活動で十分に活用できなかった。

- ◆アンケートの結果から、エコモー活動に興味はあるが、自分からエコモープロジェクトに関わることは難しいと感じている人が多いことがわかった。

年間の活動方針から見たふりかえり

方針

活動の内容を絞り、活動ごとの効果を高める

◆町民文化祭への参加をやめたことで、ホッキ祭りでの自然再生PR活動をより集中して行うことができた。

成果

◆ホッキ祭りやエコモーターDayの活動計画を立てた際に、「自然再生への関心を高める」という目標を明確化したことで、一貫した自然再生PR活動を行うことができた。

課題

- ◆E☆S会議の度に普及行動計画の『3つの役割』を確認し合うなど、目的を明確化する工夫も必要。
- ◆ホッキ祭りでの自然再生PRの来訪者は112名と、昨年より多少なかった。

年間の活動方針から見たふりかえり

方針

エコモーター実施者が活動しやすく、活動の意義を感じられるようにする。

成果

◆エコモーターメンバーが自然再生とのつながりを感じられるように、ふりかえりシートに「サロベツ文化づくりのための7つの行動」との関わりを記入する欄を作った。

◆平成23年の活動実施者20個人団体のうち、7個人団体の登録が今年はなかった。

課題

- ◆エコモーター実施者が活動の意義をより感じられるようにするために、実施者を「エコモーターメンバー」と呼ぶなど連帯感を持てるような工夫が十分できなかった。
- ◆事務手続きについて改善すべき点の検討は行わなかった。